

令和3年度 調布市立若葉小学校 学校経営計画 (学校長 生田目 将)

学校の教育目標

『かしこく やさしく たくましく』

◎しっかり考え、進んで学ぶ子(進んで学び、自ら表現できる子ども【表現力】)

○思いやりのある子(優しい心もち、自分も他人も大切にできる子ども【協働する力】)

○明るく たくましい子(進んであいさつするとともに、心身を鍛える子ども【健康増進力】)

目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

持続可能な未来を創造する子どもたちの育成!

「子どもたちの笑顔があふれる学校」「教職員が子どものために生き生きと働く学校」「保護者・地域が子どもを通わせたい学校」

キーワードは「子ども第一主義」「良好な学習集団づくり」「新しい若葉小を児童と教職員の手で創造していく」

ビジョンの設定理由
(本校の現状と課題)

現状・・・(学習面) 児童は楽しく学習に取り組んでいる。

思考ツールを活用し、深い学びの実現を目指す。

(生活面) 集団のルールは多くの児童が身に付けている。児童と教員との良好な関係を築き、学校での自己肯定感が高めていきたい。

課題・・・さまざまな教育活動の中で、児童の主体性を育み、「わかる」「かかわる」「できる」の体験を児童へ積み重ねるために、思考ツールやICT 機器を活用した質の高い授業の実現していく。その活動で「良好な学習集団」が醸成し、いじめ解決・学力向上へつながる。

中期的な経営目標

- 1 自尊感情や自己肯定感を高める教育の充実
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の具現化及びICT 活用の推進
- 3 体力向上
- 4 特別支援教育の推進
- 5 連携の推進
- 6 特色ある教育活動の推進

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

1 豊かな心 (徳)	2 確かな学力 (知)	3 健やかな体 (体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 良好な学習集団づくり	① 「わかる」「できる」の実践	① オリパラ教育の推進
② 多様性を受け入れる学校	② 「かかわる」の実践	② 基礎基本の体力向上
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 児童・保護者アンケートの肯定的評価を90%以上 いじめの100%解決	① 授業の導入時にめあてを生徒と共有し、終末に振り替えることを全授業で100%実施。 思考ツールの実践活用の推進。	① 本物の見せる機会の充実
② 児童と教職員の人権感覚の醸成 児童にかかわる校内規則の見直し	② 自己の考え構築のためにワークシート等の活用(主体性)、ペア、小グループの実施(かかわり、他者意見、クリティカルシンク)を50%	② 児童・保護者アンケートの肯定的評価を90%以上 外遊びの改善

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

4 特別支援教育の推進	5 連携の推進	6 特色ある教育活動の推進
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 校内委員会の組織化活性化	① 第四中学校との連携	① スポーツ大会の新設
② 就学支援シートを活用するとともに、「個別指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、個に応じた指導を推進	② 地域との連携	② 若葉ステージのリニューアル
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 担任・学年及び保護者を支援する具体的な手立てを100%提示していく組織に醸成する	① 施設面の借用・授業実の共有・情報共有	① 児童・保護者アンケートの肯定的評価を90%以上
② 「個別指導計画」「個別の教育支援計画」の100%作成と、個に応じた指導を推進	② コロナ禍における可能なことの模索・実践	② 児童・保護者アンケートの肯定的評価を90%以上

人材育成・組織運営

- ・主観教諭の管理職としての資質向上(主幹会や喫緊課題の解決を通して)
- ・適材適所の配置により、意欲と達成感をもたせ、主任教諭の学校運営意識の向上を図り、主幹教諭へ昇任させる。
- ・支援・応援・指導し、全教職員の職務内容や教育実践を実現させ、子ども第一主義の自立した教職員へ育成する。